

第13章 障害者福祉

1 障害者数の推移 (表1、図1) 【統計編 16-第1表、第6表、第11~12表】

令和4年度では、身体障害者が67,040人、知的障害者が16,668人、精神障害者が38,600人となっており、知的障害者及び精神障害者数は年々増加傾向にある。

表1 障害者数の推移

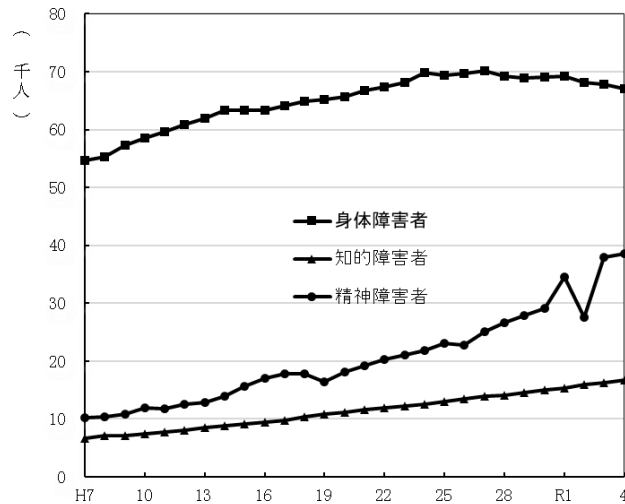
(単位:千人)

年次	身体	知的	精神
平成7	54.6	6.7	10.2
12	60.8	8.1	12.6
17	64.2	9.8	17.8
22	67.4	12.0	20.3
27	70.1	13.9	25.1
令和2	68.1	15.9	27.5
3	67.8	16.2	37.9
4	67.0	16.7	38.6

【出典】福祉行政報告例他

注) 身体障害者及び知的障害者は手帳交付台帳登録数、精神障害者数は通院者数(自立支援医療による通院医療費交付決定件数) + 在院患者数による推計数である。

図1 障害者数の推移



【出典】福祉行政報告例他

2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数の推移 (表2、図2)

【統計編 16-第2表】

身体障害者手帳交付台帳登録数の総数は、令和4年度末現在で67,040件となっている。

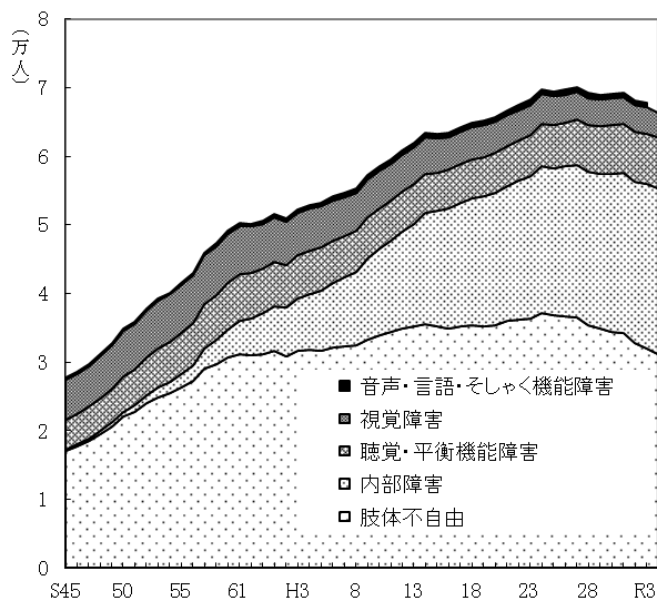
内訳は、肢体不自由が31,252件(構成比46.6%)で最も多く、次に内部障害が24,046件(同35.9%)で続いている。

表2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数 (令和4年度末現在)

障害の種別	登録数 (割合(%))
肢体不自由	31,252 (46.6)
内部障害	24,046 (35.9)
聴覚・平衡機能障害	7,395 (11.0)
視覚障害	3,652 (5.4)
音声・言語・そしゃく機能障害	695 (1.0)
総数	67,040

【出典】福祉行政報告例

図2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数の推移



【出典】福祉行政報告例